

教室短信

◎ 2012 年度は教室関係者のほかに、原野昇広島大学名誉教授（学部「フランス語学講義」）、中川正弘広島大学国際センター教授（学部「現代フランス文学演習」、大学院「フランス文学語学演習」）に出講していただいている。また、集中講義の形式で、竹内信夫東京大学名誉教授（学部「フランス文学特殊講義」、大学院「フランス文学語学特殊講義」）にご援助いただいている。

◎ 2006 年 4 月より外国語教育研究センターに移動されていたジャン＝ガブリエル・サントニ教授は、2012 年 4 月より文学研究科に復帰された。

◎ 下記の方々が上梓された。

原野葉子、レーモン・クノー『文体練習』（松島征氏他との共訳）、水声社、2012.
宮川朗子、アントワヌ・コンパニオン『アンチモダン』（松澤和宏氏他との共訳）、
名古屋大学出版会、2012.

◎ 広島大学とトゥルーズ・ル・ミラーユ大学との間の大学間交流協定に基づいて、当教室 3 年生の本田秀一さんが、2012 年 9 月から 10 ヶ月間の予定でトゥルーズ・ル・ミラーユ大学に派遣された。

◎ 広島大学文学部とスイスのローザンヌ大学文学部との間の学術交流協定に基づいて、当教室の 4 名の学生を含む 7 名の学生が、2012 年 8 月、ローザンヌ大学夏季フランス語研修短期留学プログラムに派遣された。

(M.)

※本欄への情報をお寄せください。（yosei@hiroshima-u.ac.jp）

2011 年度 卒業論文題目

- 泉 美帆 ファデットの人間性と魔女性
片岡 彩子 サン＝テグジュペリの男性観・女性観
光村 舞乃 モーパッサン『脂肪の塊』論
吉田 麻緒理 マノン・レスコー論
 — « femme fatale » マノン・レスコーの特異性についての一考察 —
吉中 由希子 オーノワ夫人『白猫』における反キリスト教的思想

2011 年度 修士論文題目

- 田村 将太郎 『イリュミナシオン』における〈迷い〉について